



松尾芭蕉 草加松原 「おくのほそ道」ウォーキングマップ

奥の細道の中で千住を過ぎ、最初に芭蕉が到着した宿が埼玉草加道中の松並木に点在する石碑をめぐるウォーキングマップ



●草加市立八幡小学校
●観正院
●篠葉公園

ゴール 5200歩

百代橋 4680歩

獨協大学前駅 東口

ハーブ橋 3880歩

「おくのほそ道」の行程図の石碑

矢立橋 3080歩

おせん公園 2200歩

神明宮

草加宿神明庵 2000歩

札場河岸(ふだばかし)公園 2800歩

草加駅東口

スタート

ゴール

5200歩

4000歩

2000歩

スタート

奥の細道の始まりの「月日は百代の過客にて...」が由来の百代橋。松尾芭蕉文学碑・奥の細道文学碑

【名勝 おくのほそ道の風景地 草加松原(Donald・キーン書)の石碑

矢立橋「行く春や鳥啼き魚の目は涙これに矢立の初めとして行く道なほ進まず」からの引用

「やうやう草加といふ宿にたどり着きにけり」と記した芭蕉が江戸を振り返る様子のブロンズ像と日本の道101選の顕彰碑。正岡子規の「梅を見て野を見て行きぬ草加まで」の句碑、高浜虚子の「巡礼や草加あたりを開る雁」句碑

札場河岸公園石碑。かつて綾瀬川を利用して江戸に荷物を運ぶ船着場だった河岸場が復元されている

旧日光街道沿い「神明宮」、その隣に「おせん公園」の草加せんべい発祥の石碑と、紀行300年記念の「芭蕉 奥の細道」石碑

旧日光街道沿い「草加宿神明庵」日光街道の石碑

※1マスの目安は400歩としています。
※ご自身が歩いた歩数分、マス目を塗りましょう。